

「私立はユニークな教育カリキュラムが多く、 子供に合った教育が選べる」

アンテナ・プレススクール代表、石井至氏

“道草方式”の同志社か、 “促成栽培方式”の立命館か

—私立校ならではのメリット、魅力は何だと考えられますか？

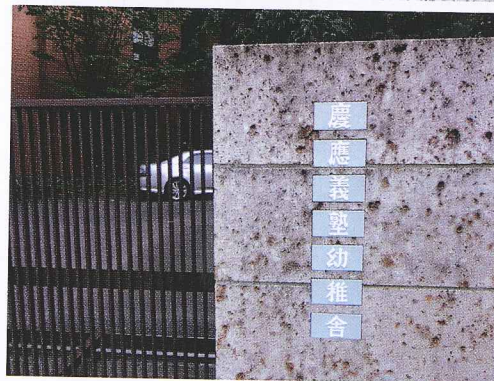
1つは、私立校は独自の教育理念を貫き、ユニークな教育カリキュラムを導入している学校が多いことです。学校によって特色が全く異なります。そのため、各家庭の教育方針や子供の性格に合った学校を選べます。

例えば、慶應義塾幼稚舎は漫画を持参しても良いクラスと、ダメなクラスがあるなど、クラスによってルールが違います。クラスは子供の親の職業によって分けられていると指摘したのは私が初めてですが、それも慶應ならではの分け方です。

東京女学館は、ロシアの発達心理学者・ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」という教育理論を本格的に教育システムに取り入れた、世界唯一の学校です。単に先生が授業で一方的に教えるのではなく、児童それぞれに勉強のバディがいて、子供同士が学び合うようなシステムです。そうすると落ちこぼれがなくなります。この手法は、同校の校是であり、教育界で注目されている新しいリーダーシップの概念「インクルーシブ・リーダーシップ」の実現手法にもなっています。

他には、京都の同志社小学校は「道草」をコンセプトとして教育をしています。目的地にすぐ行かないで、寄り道しながら、試行錯誤をわざとさせながら、じっくりと教えていく教育方法です。月齢に応じた教育を徹底的に行うと、歩みは遅くても、しっかりとした基礎学力のある子供になります。ほとんどの子供にとっては、そういうやり方の方が実力がつきます。その反対のタイプが、立命館小学校です。立命館は促成栽培の先取り方式授業で、成長の早い子供にどんどん先取りして教えていきます。

もう1つのメリットとしては、他の学校では得られない人脈があるということではないでしょうか。慶應義塾だけではなく、どこの名門私立校にも卒業生には著名人がいて、その方のお子さんやお孫さんが通っています。そのような友達の中で成長できるのは大きな財産ですし、中高や大学まで一貫して一緒に過ごすため、一生の友達を作ることができます。



渋谷区恵比寿にある慶應義塾幼稚舎。
小学校受験を考える親子にとっては最高峰の存在

高い価値と本質を提案するプレミアムマガジン

SEVEN HILLS

ンヒルズ・プレミアム]

ry
3

2+3

合併号

SPECIAL

名門私立校か？

それともインターナショナルスクールか？

グローバル社会を

生き抜くための国際教育

特集

メドック

進化するボルドーワインの聖地

Part 1 伝統と格式、そして革新

Part 2 メドックのつくり手たち

Part 3 「ビオワイン」の時代

Part 4 メドック・シャトーの多様性